

1. 主な研究内容について

スポーツ傷害復帰から競技パフォーマンスまでをフォーカスに、幅広くアスリートの栄養に関する研究を行っています。スポーツに伴う傷害を予防し、競技パフォーマンスを向上させるためには、トレーニングと休養、そしてバランスのとれた食事の3つが揃って初めて十分な効果が発揮されます。アスリートにとって食事は、健康の維持・増進など生涯の健康づくりだけではなく、体づくりや競技力の維持・向上はもちろん、けがの予防や日々のトレーニングにおいても重要です。栄養マネジメントを行う上で重要なことは、対象者の目的や特性に応じたアセスメントを実施することです。

2. 主な共同研究先

大阪大学

3. 今まで指導した修士論文名

なし

4. 主な論文

- Kawakami Y, Yonetani Y, Takao R, Ogasawara I, Mae T, Nakata K, Horibe S: Reproducibility of Dynamic Body Balance Measurement by Center of Foot Pressure Analysis Immediately after Single-leg Hop Landing, The Kurume Medical Journal, 41-46, 2015
- 川上由紀子,高尾理樹夫,小笠原一生,米谷泰一,中田研,堀部秀二:片脚ホップ着地時の動的バランス-足圧中心軌跡長の検討-,日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 870-873, 2015
- 高尾理樹夫,田中美成,北圭介,天野大,金本隆司,北口拓也,佐藤のぞみ,竹下真弥,川上由紀子,堀部秀二:ACL 再建術後の身体組成変化,日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 792-796, 2015
- 川上由紀子, 高尾理樹夫, 小笠原一生, 高尾憲司, 濱口幹太, 米谷泰一, 中田研, 堀部秀二:片脚前方ホップ着地時の動的バランス, スポーツ傷害, 38-40, 2014
- 高尾理樹夫, 堀部秀二, 川上由紀子, 山下絵美, 草野雅司, 岩田秀治, 永田武豊, 塩崎嘉樹:スポーツ選手の膝前十字靭帯再建術後の栄養調査, 関西臨床スポーツ医・科学研究会誌, 47-50, 2014

5. 現在の指導している大学院生数

なし

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか?

スポーツに興味があり、自ら積極的に研究に取り組むことができる人を希望します。